

賀詞交歓会

安全・安心の 確保に寄与

北海道舗装事業
協会ら3団体

北海道舗装事業協会（中
田隆博会長）と日本道路建
設業協会（道建協）北海道
支部（中山晶敬支部長）、



北海道アスファルト合材協会（玉川裕一会長）は8日、札幌市中央区の札幌プリンスホテルで2025年新年交歓会を開いた。来賓や会員合わせて約300人が参加し、道路舗装業界のさらなる飛躍を願った。

3団体を代表してあいさつした中田会長は、昨年スタートした第9期北海道総合開発計画のポイントとなる生産空間の維持・発展の重要性に触れ「経済や暮らしを支える道路ネットワークの整備は、物流効率化や回復しているインバウンド観光の広域化・分散化を促進し、道内経済の活性化に大きく寄与する」と道路整備の必要性を強調。「道路事業の重要性を広く訴え掛けながら、舗装事業を通じ北海道の暮らしの安全・安心と国の発展に寄与していく」と決意を示した＝写真。続いて来賓の坂場武彦北海道開発局長、鈴木直道北海道知事、天野周治札幌市副市長、玉木勝美北海道建設業協会副会長がそれぞれあいさつし、和泉晶裕北海道建設業信用保証社長の音頭で祝杯を挙げ、新年のスタートを祝った。

